

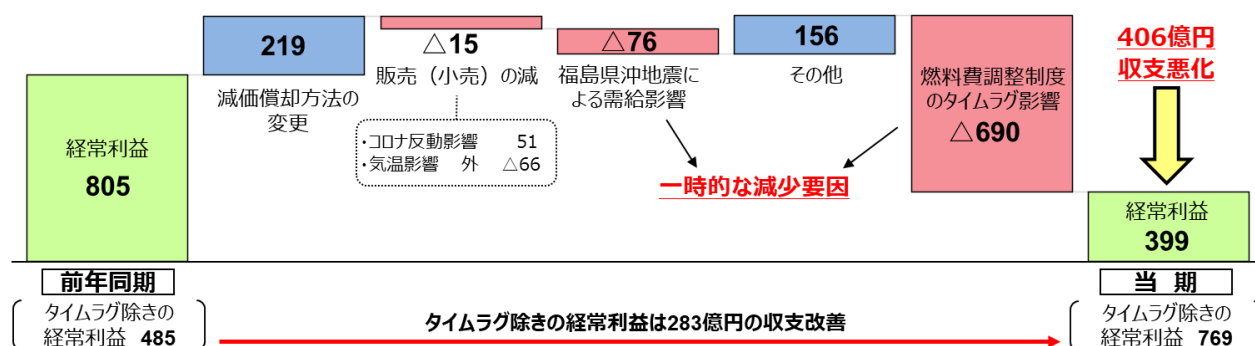
## 《 決算概要 》

【連結】

(単位：億円)

	当第2四半期 (A)	前年同期 (B)	増減 (A)-(B)	前年同期比 (A)/(B)
売上高	8,731	10,380	△1,649	84.1%
営業利益	490	893	△403	54.9%
経常利益	399	805	△406	49.6%
親会社株主に帰属する 四半期純利益	342	561	△219	61.0%

### 【連結経常利益の変動要因】



## 【セグメント情報】

(単位：億円)

		発電 ・販売	送配電	建設	その他	小計	調整額 <sup>(注)</sup>	連結値
当第2 四半期 (A)	売上高	6,698	3,221	1,202	929	12,051	△3,320	8,731
	経常利益	449	183	△ 22	66	676	△ 276	399
前年 同期 (B)	売上高	8,304	3,412	1,065	970	13,753	△3,372	10,380
	経常利益	711	111	△ 26	69	865	△ 60	805
増減 (A)-(B)	売上高	△1,605	△ 191	136	△ 40	△1,701	52	△1,649
	経常利益	△ 262	72	4	△ 3	△ 189	△ 216	△ 406

(注) セグメント間取引消去によるもの。セグメント毎の数値の合計に調整額を加味することで、連結財務諸表の各項目の数値と一致する。

## [発電・販売事業]

販売電力量（小売）は、前年に比べ夏場の気温が低かったことにより冷房需要が減少したものの、新型コロナウイルス影響の反動などにより、業務用・産業用の稼働が増加していることから、315億kWh（前年同期比 2.8%増）となり、このうち、電灯需要は、89億kWh（前年同期比 6.1%減）、電力需要は、226億kWh（前年同期比 6.7%増）となりました。

一方、福島県沖地震により火力発電所が停止したことに伴い、市場取引の販売が減少したことにより、販売電力量（卸売）は、76億kWh（前年同期比 18.4%減）となりました。

これにより、販売電力量（全体）は、391億kWh（前年同期比 2.2%減）となりました。

売上高は、販売電力量の減少や、「収益認識に関する会計基準」の適用による影響などから、6,698億円となり、前年同期に比べ1,605億円（19.3%）の減収となりました。

経常利益は、燃料費調整制度のタイムラグ影響や、福島県沖地震による火力発電所の停止に伴う燃料費増加影響による、一時的な要因があったことなどから、449億円となり、前年同期に比べ262億円（36.9%）の減益となりました。

※「収益認識に関する会計基準」適用影響 売上高1,831億円 減少

## [送配電事業]

エリア電力需要（kWh）は、夏場の冷房需要が減少したものの、産業用における生産活動の回復による増加により367億kWh（前年同期比 3.4%増）となりました。

売上高は、「収益認識に関する会計基準」の適用による影響などから、3,221億円となり、前年同期に比べ191億円（5.6%）の減収となりました。

経常利益は、減価償却方法の変更により減価償却費が減少したことなどから、183億円となり、前年同期に比べ72億円（64.8%）の増益となりました。

※「収益認識に関する会計基準」適用影響 売上高963億円 減少

#### [建設業]

売上高は、一般向けの屋内配線工事や土木工事が増加したことなどから、1,202億円となり、前年同期に比べ136億円（12.8%）の増収となりました。

これにより、経常損失は、前年同期に比べ4億円（16.9%）縮小し、22億円の損失となりました。

#### [その他]

売上高は、ガス事業における増加があったものの、情報通信事業や製造業における減少などにより、929億円となり、前年同期に比べ40億円（4.2%）の減収、経常利益は66億円となり、前年同期に比べ3億円（5.1%）の減益となりました。

#### 【主要諸元】

項 目	当第2四半期	前年同期
原油CIF価格（ドル/バーレル）	70.3	36.5
為替レート（円/ドル）	110	107
原子力設備利用率（%）	—	—

#### 【販売電力量】

（単位：百万kWh）

	当第2四半期 (A)	前年同期 (B)	増減 (A)-(B)	前年同期比 (A)/(B)
電 灯	8,887	9,462	△ 575	93.9 %
電 力	22,621	21,196	1,425	106.7 %
小売 計	31,509	30,658	851	102.8 %
卸 売	7,616	9,336	△ 1,720	81.6 %
合 計	39,124	39,994	△ 870	97.8 %

《 2022年3月期（2021年度）連結業績予想 》

業績予想につきましては、2021年7月30日に公表した数値から変更はありません。

【連 結】

（単位：億円）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する 当期純利益
通 期	18,100	520	350	230

《 2022年3月期（2021年度）配当 》

中間配当につきましては、1株につき20円といたしました。

期末配当につきましても、1株につき20円を予定しております。

（単位：円）

	中 間	期 末（予想）	年 間（予想）
1株当たりの配当金	20	20	40

以 上